



第1回助産実践能力向上研修



平成30年7月21日(土)、山口県看護研修会館において、第1回助産実践能力向上研修会が開催されました。午前は、山口大学医学部附属病院 副栄養治療部長 有富早苗先生に「妊娠期から授乳期における栄養」、午後は、山陽小野田市民病院 感染管理認定看護師 山本扶美江先生に「母体感染リスクと対応」について、講義をして頂きました。
CLOCMiP レベルⅢ認定研修という事で、午前50名、午後47名と大変多くの参加がありました。



午前の講義では、妊娠から授乳期における栄養、小児の食物アレルギーと母親の関係、思春期の栄養などについてお話しして頂き、栄養指導の必要性を再認識することが出来ました。また、味覚と嗅覚の実験(鼻をつまんでグミを食べると味が違う)を体験し、その味の違いに大変驚かされました。「今後の指導に活かせる」という感想が多く有りました。



午後は、母子感染について、妊娠中に行う感染症スクリーニング、周産期における感染経路、ワクチン接種など大変詳しくお話しして頂き、母体感染が児に及ぼす影響・感染予防の重要性を考え直す良い機会になりました。
「感染経路や児の病態を再学習することができた」「免疫と感染、母体感染と胎児を守ることについての知識を得られた」という感想が有りました。

今後の助産実践能力向上研修予定

12/15 助産倫理、産科医療補償制度

H31/1/26 災害時における助産体制の整備

H31/2/17 超音波画像診断装置の基本操作と手順

皆様のご参加、お待ちしております。

山口県看護協会

助産師職能委員会

